

第2回理事会 議事録

日 時：平成27年5月22日(金)14:00～17:20

場 所：本学会会議室

出席者：長谷川会長、木谷、大塚各副会長、伊藤常務理事、長田、釜井、金、塩崎、清水、高見、茶石、塚本、原、向山各理事、奥田、中嶋各監事

陪 席：熊谷(事務局)

議事内容：

1. 前回議事録の確認

- ・平成27年4月24日開催の第1回理事会の議事録案が承認された。

2. 審議事項

(1) 会員状況

- ・5月22日時点で、正会員11名、学生会員2名の入会、正会員2名、名誉会員1名の退会を承認し、個人会員が1902名になることを確認した。

(2) 総会準備

- ・総会資料の内容を確認し、一部修正を行うこととした。
- ・総会資料の修正は5月末まで受け付けることとした。

(3) 委員の承認：以下を承認した。

- ・研究企画委員会： 退任)佐々木 俊法(電中研)、新任)相山 光太郎(電中研)
- ・地下水研究部会： 新任)平野智章(日本工営)
- ・応用地形学研究部会： 退任)長谷川修一(香川大学)、新任)野々村敦子(香川大学)

(4) 勲倉名誉会員の訃報

- ・勲倉名誉会員の訃報に際し、学会として、会長名で弔電を打ったことが報告された。
- ・追悼文の執筆候補者を検討し、第一候補を大八木規夫名誉会員とし、大八木名誉会員が辞退された場合、富田友幸会員、中原正幸会員に打診することとした。

(5) 後援・協賛依頼など：以下の3件の後援を承認した。

- ・地下水学会「地下水の保全、涵養および利用に関する法制度化に向けた現状と課題」への後援
- ・物理探査学会「物理探査セミナー」への後援
- ・地盤工学会「地盤材料試験に関する技能試験」への後援
- ・2016年国際地学オリンピック日本大会(三重県)への協賛
→協賛することによるメリット(広告に学会名が掲載されるか)を確認の上、田中国際基金から1口(10万円)の協賛を行うこととした。
- ・「一家に1枚」ポスターの企画募集
→研究企画委員会で検討することとした。
- ・論文掲載許諾願い(土木学会)
→引用元を明らかにするという条件で許諾することとした。

(6) 新たな田中基金活用策

- ・提出書類に推薦書を付けるなどを追加した規約案を作成することとした。

(7) ネパール地震

- ・日本応用地質学会の活動として、長谷川会長がネパール地震災害の調査に参加することを了承した。

3. 報告事項

(1) 収支状況

- ・4月と5月の収支状況報告は次回理事会でまとめて実施することとした。

(2) 執務執行状況

- ・長谷川会長, 木谷副会長, 大塚副会長, 伊藤常務理事の平成 26 年 11 月～平成 27 年 3 月の職務執行状況が報告された.

(3) アジアシンポジウム

- ・収入 865 万円, 支出 830.94 万円の予測であることが報告され, 今回の収支予測を総会資料に掲載することとした.
- ・Full paper の投稿数は 5 月 22 日現在 125 件であることが報告された.

(4) JpGU での展示

- ・英語版パンフレットと入会申込書各 30 部を JpGU 会場(幕張メッセ)に発送することが報告された.

(5) 日本工学会総会案内

- ・6 月 5 日の総会には大塚副会長が参加することが報告された.

(6) 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

- ・6 月 5 日の実務担当者連絡会(第 13 回)には伊藤常務理事が参加することが報告された.

(7) 国立19大学地球科学系学科学科長・代表者会議声明

- ・声明文の内容について教育普及委員会で検討することとした.

(8) 倉持名誉会員の追悼文

- ・遠藤 毅会員(株 ピーシーコンサルタント)の執筆による追悼文が 6 月号に掲載予定であることが報告された.

4. その他(各委員会・支部からの報告)

・事業企画委員会

- 一般向けの小冊子の発行について, 広報・情報委員会と協議することとした.

・教育普及委員会

- ボーリングコアの見方講座については, 参加費と会員・非会員の区別について, 再検討することとした.

・東北支部

- 平成 28 年度の全国大会は仙台を会場とすることが報告された.